

## ハイボンドブルガードU

### 弱溶剤形エポキシ・ウレタン変性樹脂系下上兼用塗料

**特 長**

- ・塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- ・厚塗性(60μmまで施工可能)に優れ、工程短縮が可能です。
- ・弱溶剤を使用しているため旧塗膜および素材を起こしたり、痛めることがほとんどありません。
- ・有害重金属の鉛・クロムを配合していません。
- ・ポリアルケル樹脂系上塗塗料の耐候性とポリアミン樹脂系下塗塗料の防食性を有したハイボンドタイプの下上兼用塗料です。

**塗料性状**

		塗料液	硬化剤		
色		各色	無色～淡黄色		
密度(g/cm <sup>3</sup> ) (23℃)		1.16 ( 叔付混合塗料 ) 1.20 ( 叔付塗料液 )	0.99 ( 硬化剤 )		
光沢		つや有り			
引火点		45	45		
発火点		190 ( 参考値 )	200 ( 参考値 )		
消防法表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリヤー塗料		
	危険物区分	指定可燃物・液体	第4類 第2石油類(非水溶性)		
	危険物等級	- ( 火気厳禁 )	III ( 火気厳禁 )		
有機溶剤区分		第3種	第3種		
毒劇物表示		-	-		
有害物表示		-	ポリイソシアネート		
ホルムアルデヒド放散等級	登録(認証)番号	N02243			
	区分表示	F			
問合せ先	<a href="https://toryo.or.jp">https://toryo.or.jp</a>				
国連/指針番号	1263/128		1866/128		
環境性能	ホルムアルデヒド	配合せず	配合せず	トルエン	配合せず
	キシレン	0.8%	配合せず	エチルベンゼン	0.2%
	スチレン(モノマー)	0.2%	配合せず	テレフタ酸	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	配合せず	アセトアルデヒド	配合せず
	フェノール	配合せず	配合せず	鉛	配合せず
T V O C	24.2%				

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%) 64 ( ホワイト混合塗料 ) 68 ( ホワイト塗料液 ) 50 ( 硬化剤 )

**塗装基準**

- 下地調整:
- 混合:
- 荷姿:
- ポットライフ:
- 希釈剤:
- 塗装方法:

- ・塗り替え時の素地調整は発錆部・劣化部は2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。
- 2液形のため、「塗料液：硬化剤=85：15(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- 16kgセット(塗料液:硬化剤=13.6kg:2.4kg)、4kgセット(塗料液:硬化剤=3.4kg:0.6kg)
- 6時間(23℃)、8時間(5℃)
- 塗料用シンナー-A

塗装方法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	0～5%	0～5%
使用量	0.15kg/m <sup>2</sup> /回	0.19kg/m <sup>2</sup> /回
膜厚(ドライ)	50μm	50μm
膜厚(ウェット)	105μm	105μm

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12～15MPa チップNo.163-513、515など

- エアレス条件:
- 乾燥時間:

	5	23	30
指触乾燥	90分	40分	30分
半硬化乾燥	2時間	1時間	40分
塗り重ね乾燥	24時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内	16時間以上1ヶ月以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

## 注意事項

- ・硬化剤は湿気に変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
  - ・さびの発生を抑制するために、下地調整を十分に行ってください。
  - ・補修塗装で下塗りを塗り重ねる部分は入念な目粗しを行ってください。
  - ・塗料用シンナーA以外(例えばウレタン用シンナー等)での希釈は絶対に避けてください。
  - ・過剰希釈をすると本来のつやが発現しない場合がありますので、標準希釈量をまもってください。
  - ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
  - ・水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
  - ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
  - ・エアスプレーの場合は、はけ・ローラー・エアレス塗装に比べ、光沢が低下する傾向にあります。
  - ・標準膜厚より極端に厚い場合や、薄い場合には種々の塗膜欠陥を生じる事がありますので規定の使用量を厳守してください(さび・はく離等)。
  - ・立体駐車場床面、木部などの部材への塗装は避けてください。
  - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
  - ・濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでご注意ください。
  - ・色相によっては隠蔽が劣るものがございますので、ご相談ください。
  - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
  - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。

本書類の内容については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本書類中の製品名・会社名は、日本ペイント株式会社、その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

Copyright (c) 2014 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved. この書類に対する加筆、修正はご遠慮ください。